

国際共同研究事業
英国との国際共同研究プログラム
平成30年度実施報告書

平成31年3月31日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

共同研究代表者

所属機関・部局 農研機構・生物機能利用部門

職・氏名 上級研究員 陰山 大輔

1. 事業名 国際共同研究事業 英国との国際共同研究プログラム
2. 研究課題名 (和文) カオマダラクサカゲロウにおけるオス殺し抑制の進化遺伝学的動態
(英文) Genetics and evolutionary dynamics of male-killer suppression in the lacewing,
Mallada desjardinsi
3. 共同研究実施期間 (全採用期間)
平成31年2月14日 ~ 令和4年2月13日 (3年)
4. 研究参加者 (代表者を含む)
(1) 日本側参加者 1名 (2) 英国側参加者 2名
5. 主要な物品購入状況 (単価 (一品又は一組) 若しくは一式の価格が 50 万円以上のものを購入した場合は記載)

物品名	仕様 型・性能等	数量	単価(円)	金額(円)	設置研究機関名	備考
超低温フ リーザー	福島工業 LAB41 (マイナス 80℃)	1 台	680,400	680,400	農研機構	

備考：本事業の委託費と他の経費とを合算使用する際は、合算使用した旨を備考欄に記載した上で、金額は本事業の委託費によるもののみ計上してください。

8. 研究実施状況

※ 申請書の内容及び当該年度実施計画書の「5. 本年度実施計画の概要」と対応させつつ、当該年度の研究の実施状況を簡潔に日本語にて記入してください。

平成30年度における研究期間は、2月14日から3月31日までの実質1ヶ月半である。

この1ヶ月半で、研究に必要な設備（サンプル保管用の超低温槽・昆虫飼育用の低温恒温器）の購入と、すでにサンプリング済みの個体（カオマダラクサカゲロウ）を整理するとともに、その一部（40個体）からDNA抽出を行うとともに、来年度（4月）から雇用する博士研究員の公募を行い、適任者を確保することができた。

また来年度（5月頃）から野外採集を行うため、分担者である西日本農研の林と、雇用予定の博士研究員とは、学会の時に直接会って打ち合わせを行うことができた。英国側の Gregory Hurst 教授とは、メールでやりとりを行っているが、サンプルの第一回送付については、来年度早々（4月中）に行う予定としている。

9. 研究発表（平成 年度の研究成果）

【雑誌論文】 計（ ）件 うち査読付論文 計（ ）件

通番	共著の有無*	著者名		論文標題			
①		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
②		著者名		論文標題			
③		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	

【学会発表】 計（ ）件 うち招待講演 計（ ）件

通番	発表者名		発表標題	
	①			
学会等名		発表年月日	発表場所	

【図書】 計 () 件

通番	共著の有無*	著者名		出版社		
①		書名			発行年	総ページ数

* 相手国研究代表者との共著がある場合は○、相手国研究代表者との共著であり論文内に事業名を明記している場合は◎と記入した上で、明記されている箇所（頁、巻頭、巻末等）を記入。

* 足りない場合は適宜行を追加して下さい。

1. この報告書は、最終年度を除く毎年度提出してください。
2. 本会の事業報告等に記載するための適当な写真がありましたら、説明を付して添付してください。
3. この報告書の1.～5.及び8.～9.は、本共同研究の成果として本会ホームページに掲載するほか、報告書全てを閲覧用に公開します。また、この報告書を本会の事業報告として刊行する場合、内容に影響しない範囲で修正を行うことがあります。